

あおぞら

さか かい だ しげる  
坂井田 茂

録画映像



## 問 「津市架け橋プログラム」の具体的内容について問う

教育長は、令和8年度に重点的に取り組む教育施策の方針の説明の冒頭で、「誰一人取り残さない教育」を実現するために、学びの環境を保障すること、特に授業改善では、全ての学校に積極的に関わり「子どもが主体的に学ぶ」授業への転換を図っていくと述べた。そこで、幼児期の学びと小学校教育をつなぐ「津市架け橋プログラム」の具体的な取り組み内容を問う。

## 答 幼児期の学びをしっかりと小学校の教育へつないでいく

幼児期の学びをしっかりと小学校の教育へつなぎ、子どもたちに自分で考えて解決する力、協働する力などの非認知能力を育むことが重要であると考え、令和4年度から公立、私立の幼稚園、保育所、こども園と小学校の職員が、日々の実践を語り合うことを通じ、互いの保育、教育を理解し合う取り組みを進めてきた。令和6年度からは全ての小学校区において、施設間の横のつながり、幼児教育と小学校教育という縦のつながりを大切に語り合いを重ねており、幼児教育で大切にしてきた子ども主体、体験重視の視点を小学1年生の授業づくりにつなげる取り組みを進めていく。

### その他の質疑・質問

- 令和8年度の教育方針に関して
  - タブレット端末一斉更新による効果的な授業改善について
- 津なぎさまちと中部国際空港を結ぶ海上アクセス就航船および運航事業に関して
- 各種選挙に係る運営上の選挙管理事務および選挙の適正な管理執行の課題とその対応策に関して

▶  
2隻に加え、予備船1隻による安心な海上アクセス運航事業の継続が望まれる



あおぞら

ふじ た さだ ひこ  
藤田 定彦

録画映像



## 問 私たちが納付した森林環境税、みえ森と緑の県民税の活用は

私たちは、平成26年度から「みえ森と緑の県民税」を、令和6年度から国税として「森林環境税」を年間1,000円ずつ納付している。

この私たちが納付した税金を財源として、森林環境譲与税が津市へ譲与され、みえ森と緑の県民税市町交付金が津市へ交付されている。

これらの譲与税および交付金を津市はどのように活用しているのか。

## 答 それぞれを活用して事業を行っている

森林環境譲与税については、令和元年度から活用し、森林所有者への経営管理意向調査を行い、その結果を基に森林の境界明確化および森林整備を実施してきた。なお、この森林整備に係る事業は中勢森林組合をはじめとする林業事業体に委託して実施しており、林業事業体における雇用創出や林業就業者の若返りにもつながっている。

みえ森と緑の県民税市町交付金については、平成26年度から活用し、流域防災機能強化対策事業や林地残材搬出促進事業、災害からライフラインを守る事前伐採事業のほか、夏休み森と緑の親子塾・森林環境教育開催事業なども実施している。

### その他の質疑・質問

- 議案第11号 津市職員の給与に関する条例等の一部の改正について
- 津市出張所機能の在り方検討懇話会からの報告書について
  - 市民（利用者）に対する考え方は
  - 職員に対する考え方は

など

▶  
売却が予定されている津市久居新町中央集会所

